

# 権利を主張する若い女性たち

## 国連人口開発会議(ICPD)が若者にもたらすメリットとは

ネリー・ルカレ

ケニア YWCA メンバー、2012 年世界 YWCA プログラム・アソシエイト



1994 年のカイロ国際人口開発会議(ICPD)は、人口と開発の歴史にとって、また女性の権利の歴史にとっても節目となる会議でした。そこで出された結論は、女性と若者の権利とニーズを開発プログラムの中心に据えるべきであるというものでした。

若者、特に貧困層の若者のニーズに応えるはずの政策やプログラムなどの立案において、若者は事実上無視され続けてきました。さらに、今日世界の若者 18 億人のうち約半数が 1 日 2 ドル未満で暮らしており、1 億人以上が学校に通っていません。毎年思春期の少女 1,600 万人が母親となり、一日 6,800 人に上る新規 HIV 感染者の約 40%が若者なのです<sup>i</sup>。

現在、25 歳未満の若者が世界の人口の 43%を占めており、経済成長の最も低い国々では若者人口が急増しています。ICPD 行動計画

では若者のニーズが優先課題とされたにもかかわらず、世界の多くの国々において若者のニーズへの対応は遅れています。カイロでの ICPD から 17 年経ちましたが、世界中の多くの国々で若い女性の性と生殖の権利はいまだに保障されていません。中・低所得国においては、妊娠・出産時の合併症がいまだに 15 歳から 19 歳の若い女性の主要な死因となっています。

特に後発開発途上国において、若者は男女とも自分たちのコミュニティの社会的・経済的運命を変える可能性を秘めています。適当な投資があれば、若者は個人、リーダー、また変革の担い手として、その潜在能力を最大限に発揮できます。若者の性と生殖の健康は、人権として維持・保護・尊重されなければなりません。政府は若者、特に人権侵害を受けやすい若い女性と少女に投資する必要があります。投資の際には、少女が学校に通い続けるようにし、婚姻年齢を引き上げ、健全な関係を培うことに焦点を当てるべきです。学校のカリキュラムに包括的なセクシュアリティ教育を含めることで、避妊具の使用が増え、望まない妊娠や危険な中絶、そして若者の性感染症を減らすことにつながるでしょう。また、初回妊娠を遅らせて、母子の健康を確保できるのです。

若者がさまざまな生殖の健康のニーズにアクセスするためには、若者が利用しやすいサービスが重要です。若者がこれらサービスを利用

きるように、入手しやすく、費用も手頃でなければなりません。また、中立的で秘密と判断の自由を保障できる訓練を受けたスタッフがこうしたサービスを実施すべきです。

包括的で効果が明らかになった性教育と、安全かつ利用しやすい生殖の健康に関するサービス(家族計画や避妊、安全な中絶へのアクセス)の提供を最優先することで、政府が取り組む姿勢を明らかにすることが重要です。産科フェスチュラ(ろう孔)<sup>ii</sup>は、依然として最もダメージが大きく深刻な出産時外傷の一つです。貧しい国々では、ほとんどの母親が医療援助を受けられずに出産するためにフェスチュラがおこり、大多数が少女です。フェスチュラを患う女性は失禁、恥辱、社会的隔離、健康問題に常に苦しんでいます。アジアとサハラ以南アフリカでは、200万人以上の若い女性がフェスチュラの治療を受けられないまま生活しています。フェスチュラは予防可能であり、初回妊娠を遅らせ有害な伝統的慣習をやめれば、たいていは避けられることがわかっています。世界中で何百万人も女性が女性器切除を受けてきました。こうした若い女性が直面する現実は容認できませんし、防ぐことは可能です。若者が健康的な生活をおくり、自分たちの家族や将来について計画

を立てるために必要な情報やツール、サービスを提供しないことは、どんな理由があっても許されません。政府は今こそ、若者が自分たちの性と生殖の健康について責任ある決断を下せるような政策やプログラムを真剣に支援するべきです。性と生殖の健康は若者たちの権利です。ただ無駄に考えたり話すだけではなく、尊重し、守らなければなりません。

世界 YWCA の重要な目標は、女性、若い女性と少女の権利のために支援活動をすることです。今日の世界において、若者の意見と参加を無視することはできないし、そうすべきでないことは明らかです。それは、若者自身の未来にとって重要であるだけでなく、長期的に見れば社会全体にメリットがあるのです。

ネリー・ルカレは、ケニアで若い女性の性と生殖に関する健康と権利(SRHR)を支援してきました。その経験をいかして、2012年にジュネーブの世界YWCA本部でインターンをつとめ、世界や地域でアドボカシー活動に貢献しました。

<sup>i</sup> 国連人口基金 <http://www.unfpa.org/public/adolescents>

<sup>ii</sup> 暴力を受けたり、身体的に未発達な状態、医療アクセスがない状態での出産などにより、産道と膀胱や大腸との壁が損壊し尿や便が失禁状態になる疾患。